

(福) 日本聴導犬協会 2020 年(令和 2 年)度 事業報告書

2020 (令和 2) 年 4 月 1 日～2021 (令和 3) 年 3 月 31 日まで

2020 年度 事業報告書

日本聴導犬協会は、日本で唯一、海外からの聴導犬・介助犬の受入れが認められた団体です。そのことから、オリンピック&パラリンピックのために、海外から同伴される聴導犬・介助犬の受入れを委託されました。ちなみに、盲導犬については、日本で唯一、日本盲導犬協会が請け負っています。

★国際交流 ADAA

「オリパラ時の海外からの補助犬」受入れ(TC)プロジェクト。以下実施済み

- (1) 受入れ説明の日本語&英文 WEB アップ
- (2) GE やアマゾンの有志の方と、受入れプロジェクトを創りました。

・活動実績:2018 年で以下実施済み。

- 5 月 補助犬議連(衆議院会館)にて ADAA 説明
- 8 月 ADAA ボランティア(宮田)養成講座
- 8 月 ADI(ミネアポリス)にて TC 説明
- 8 月 厚労省主催海外からの TC 説明会
- 8 月 GE,Google など ADAA ボラ養成講座実施
- 11 月 日本補助犬学会で TC 説明

(3)成田空港での受入れシュミレーション

- ・2019 年 一度も受け入れ練習できず。
- ・2020 年 一度も受け入れ練習できず。
- ・2021 年 国の施策として、海外からの観客の受け入れなしとなったため、同伴補助犬は選手の補助犬に限られることとなった。

(3) 受け入れマニュアル⇒作成できず

★2018 年に、3 回目 ADI 認定試験更新試験 合格

I. 聴導犬・介助犬事業

(1)2020 年度認定試験受験 3 チーム予定が、コロナ禍で認定試験を延期

(※2019 年度:認定試験合格:3 チーム 聴導犬 2 チーム。介助犬 1 チーム。2018 年度:認定試験合格:3 チーム)

(2)予想に反して、コロナ自粛により、希望者が増加。理由は「希望者のコロナ禍での孤独感、孤立感」が募っているから」。加えて、スタッフが頻繁に Facebook など情報で情報をアップすることで、具体的な訓練イメージをもった希望者が集まっている。新規問合せは 26 名。具体的に、訓練に入れる希望者数は 7 名。

(3)コロナ自粛により、聴覚障害者団体でのデモがゼロとなり、希望者のリクルーティングが難しい。例年、200 回前後の講演会を実施し、全国 3カ所での「聴導犬・介助犬なんでも相談室」で通常は、年間 70 名前後の問い合わせなどを受けていたが、その機会がほとんどゼロである。通常は、問合せ総数のうち 10～15%の希望者さんが訓練に入っている。

II, インターネット関連 実施

- (1) 独自クラウドファンディングを断念。クレジットカードの不正チェックが難しいと判断しました。しかし、他のアプリを打診中
- (2) セールスフォースは継続。顧客リストの整理中(事務方の大槻、関根、加藤が担当)。
- (3) 会員限定 Facebook & GoodMorning コミュニティの、特別頁を開設しました:
 - ① 2021年1月～ 支援者のみ参加できるプライベートFacebookタッチ&スマイル開設
 - ② 2021年1月～マンスリー支援会員用GoodMorningタッチ&スマイル(毎月千円～)開設
- (4) クラウドファンディング:2020年11月から立ち上げた Goodmorning 日本聴導犬協会にて聴導犬・介助犬育成費用 339人より9,131,300円のご支援を頂きました

III. 本部と事務所

(1) 東京支部<2018年2月～>

・構成:施設長:M(社会福祉法人施設長資格取得)。訓練業務委託:Tさん

① 利用件数 51回

- ・17回:ユーザー(6名)のアフターケア&訓練に使用
- ・2回:希望者面接
- ・7回:パピークラス
- ・6回:講演会など
- ・17回:犬ケア

(2) 関西事務所:支部候補地を探している。

・施設長:Yさん。訓練業務委託:Oさん。

① 利用:9回

- ・0回:ユーザー訓練・アフターケア
- ・0回:希望者面接
- ・2回:講演会など
- ・7回:犬ケア

(※支部のための施設準備金として積立てました。関西支部の契約ができるまでになつたのに、契約が中断されたことが「塞翁が馬」だったと、感謝しております)

(3) 本部:(福)日本聴導犬協会「元気いっぱい聴導犬・介助犬訓練センター」)

・人員:訓練スタッフ8名

(含:本部5名。東京1名。関西1名。愛知1名)。学院生2名。犬ケア2名。事務スタッフ4名→6名(東京1名)、施設整備3名

- ① 利用率:365日稼働のうち92回特別利用:772人の利用
- ② ユーザー:57回(8名様の訓練およびアフターケア)
- ③ 希望者面接:3回:
- ④ 10回:パピークラス&Pro-Dog School
- ⑤ 20回:講演10&相談室5&聴導犬クラブ5
- ⑥ 5校99名:職場体験&研修
- ⑦ 14回:調査・研究(シニア・サポートドック)
- ⑧ 5回:取材

◆収支

一般寄付増額をめざして、SNS および Loppi,かざして募金、Canpan 募金決済、クラウドでの募金(11月～2021年1月22日まで)を募った。

(1) 収入

2020年度総額:52,307,412円

(内訳:社会福祉事業47,685,142円。公益事業4,622,270円。そのうち、大口10万円以上のご寄付者様80件。

	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドファンディング： 9,131,300 円 ・持続化給付金(普及啓発)： 2,000,000 円 ・清水基金助成(車両購入)： 1,800,000 円 ・コロナ関連給付金： 長野県みらい基金 20 万円(コロナ対策物品購入) 宮田村 30 万円+10 万円(コロナ対策物品購入) <p>(2) 支出： 2020 年度総額：51,392,763 円 (内訳：社会福祉法人事業：44,470,325 円と公益事業：6,922,438 円)</p>
3	<p>◆2020 年度の年間所属犬数：41 頭 (補助犬として移動予定の 4 頭含)</p> <p>(1)2021 年 3 月現在 昨年 37 頭。現在、39 頭在任。うち、新規候補犬 10 頭 (含：保護犬 4 頭。譲渡犬 3 頭在籍)</p> <p>(2)「聴導犬候補犬ネットワーク」を全国の動物愛護センターならびに保護団体と繁殖家から合計 19 カ所(新規：沖縄の動物保護団体)。新家族(補助犬にならない候補犬の里親)リストを作成予定</p> <p>・より良い候補犬繁殖は、英国聴導犬協会での研修を 2019 年の 6 月に実施済み。</p>
	公益：普及&研修など
4	<p>I：講演会 10 回 講義：3 回 計 13 回 (2019 年度は講演会・講義・研修など 291 回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場体験・研修：5 校延べ 99 名 54 日間 (2019 年：8 校から延べ 129 人。89 日間)。 ・施設利用数：981 名(2019 年 3066 名) <p>※コロナで、講演会などが激減。謝金を主とする公益事業の収入も激減した。持続化給付金の対象となり、200 万円の補助を受けた(2018 年度：デモ・講演会・研修受 293 回。施設利用者数 2573 名) バスツアー：62 件(2018 年度 38 件。2017 年度 57 件)のための資料充実、魅力的なチャリティグッズの作成は実施できず (2018 年研修生の中で 1 名様が日本聴導犬・介助犬訓練士学院 12 期入学。スタッフ採用)</p>
	補助犬認定試験
5	<p>認定試験実施：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナのため 4 組の認定試験を予定していたが、訓練は進まず、実施できず ・兵庫県で審査・認定試験を 1 回担当
6	・他団体からの認定試験→ なし
7	・日本聴導犬協会の認定試験は年 2 回(5 月か 10 月と 2 月)の 2 度試実施したい
	インターネット関連：
8	<ul style="list-style-type: none"> ・各地の聴力情報センターでの広報活動協力のお願ひ➡協会新聞送付、設置配布のお願ひ ・「聴導犬・介助犬なんでも相談室」定例実施できず
9	・未定
10	<p>V：『全日本聴導犬ユーザーの会』との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナでまったくなし。
11	<p>VI： インターネットの活用</p> <p>Zoom を活用しての協会内外の打合せ、勉強会、ボランティア教育およびユーザーとの意見交換会を実施</p> <p>(1)現状：SNS での展開：Facebook の他、スタッフ 3 名も Twitter での参加して SNS を盛り上げています。</p> <p>Facebook 日本聴導犬協会： 21696 いいね Facebook 有馬もと： 1863 友達 Facebook 日本聴導犬・介助犬訓練士学院：20277 いいね</p>

	<p>Facebook 補助犬&補助犬候補犬&キャリアチェンジ犬の幸せ: 518 いいね Facebook:補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)ユーザーの会」と応援団: 1023 メンバー インスタグラム hearingdogfordeaf: 211フォロワー Twitter(福)日本聴導犬協会: 1246フォロワー ・Zoom 対談 5本アップ ・その他、週1回のLive発信を実施できず</p>
	助成金・補助金
12	<p>① コロナ関連収入:11,731,300円 ・宮田村 コロナ救済金 30万円 ・長野県みらい基金元気作り支援金 20万円 ・宮田村(コロナ対策物品購入費):10万円 ・持続化給付金 200万円 ・クラウドファンディング 9,131,300円 ② 助成金:2,274,000円 ・清水基金(車両購入) 180万円 ・長野県赤い羽根共同募金(電動車いす):47.4万円</p>
	教育への寄与
13	<p>◆日本聴導犬・介助犬訓練士学院 ・2020年12期生:2名(4名中)入学 ➡1名スタッフ採用 ・2021年13期生:3名(5名中)入学予定 (※2019年度10期生3名入学→1名採用 ・2019年夏集中8日間講座:聴講生(6名)→9名参加)</p>
14	<p>・職場体験&研修生受入れ: 5校99名54日間。(※2019年度は9校。129名。89日間。地元の学校4校および日本福祉大学、日本獣医生命科学大学、帝京科学大学と専門学校からの研修生の受入れ実施)</p>
	公益事業:普及活動
15	<p>I:講演会10回 講義:3回 (2019年度は講演会・講義・研修など291回) ・職場体験・研修:5校99名54日間(2019年:8校から延べ129人。89日間)。 ・施設利用数:981名(2019年3066名)</p>
16	<p>地域社会貢献:愛犬しつけ ・コロナで、Pro-Dog Schoolを実施せず。そのかわりに、個人カウンセリングを請け負う。 32組(29日間) カウンセリング料106000円 新しい事業として期待できる。 (※新型コロナの影響で激減。参考までに、Pro-Dog Schoolは、1997年から開催。日本聴導犬協会による地域社会貢献活動であり、利用者数延べ710名様※総利用者数8500名+710名=9210名。※24回の参加者数40組(110名)×5日=550名および第1土曜日無料しつけ教室:160名)</p>
	パブリシティ
17	<p>I: SNSを活用した (1) 資金調達: Goodmorning 日本聴導犬協会 9,131,300円の支援と、339名の支援者リスト (2) 物品支援の増加 (3) 新規支援者の増加 (4) 取材の増加につなげたい (5) 支援として、Zoom対談 有馬もとと ① 兎東先生 ② 柴内裕子先生 ③ 山根一真先生 ④ 藤野真紀子先生 ⑤ 鎌倉幸子さん II: 図書:企画を出版社に持ち込む予定 III: 動画配信を行う予定</p>